

【ホスピタリティ産業フォーラム】

## 【ホスピタリティ産業フォーラム活動報告】

代表幹事 井上博文（東洋大学）

ホスピタリティ産業フォーラムは日本経営分析学会内に設置された研究会である。ホテル業界を中心としたホスピタリティ産業人への啓蒙活動および興味のある参加者に対する学会への会員勧誘を目的として1994年に発足し、第15回フォーラムを以下の日程で開催した。

日時：2018年3月17日(土) 13：30～19：00

会場：立教大学池袋キャンパス 10号館 X203教室

プログラム：

◆フォーラム代表挨拶

13：30～13：35 井上博文（東洋大学）

◆基調講演

13：35～14：35

報告者：巖谷 龍（いわやホスピタリティ事務所代表, 前KPMGホスピタリティ部門パートナー,  
元JALホテルズ会長）

テーマ：ツーリズムとホテル

概要：

日本の観光とヨーロッパの観光の違いを検討し、日本の観光に対する問題提起が行われた。

◆研究報告

14：40～15：20

古山 徹（日経メディアマーケティング株式会社）

テーマ：日本企業がROEを上昇させるために必要なこと

概要：

日本企業のROE上昇ためには、デュボンの分解式ではなく、Moriwakiの分解式で評価することが必要であるとの提案がなされた。

15：50～16：30

報告者：青淵正幸（立教大学）

テーマ：交通系ICカードの導入と普及に関する考察

概要：

ICカードの導入と普及について、高松琴平電鉄と伊予鉄道の比較研究が行われた。

◆懇親会

17：00～19：00